

報道機関各位

**JR九州初！**  
**跨線道路橋の包括的維持管理に関する協定について**  
**～予防保全への取り組み～**

北九州市（市長：武内 和久）と九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮 洋二、以下「JR九州」）とは、令和7年（2025年）2月17日に跨線道路橋の包括的維持管理に関する協定を締結し、社会インフラの課題解決に向け連携を図ることとしました。

### 1 協定締結の目的

この協定は、跨線道路橋の点検や軽微な修繕等を包括化して実施することにより、効率的かつ効果的な維持管理を行うことを目的としています。このことにより道路・鉄道交通の信頼性確保と予防保全を実現し、市民及び鉄道を利用する皆さまの安全・安心を向上させることに繋がると考えております。

### 2 連携事項

北九州市および JR 九州は、本協定の目的を達成するため、相互に情報及び意見の交換を行い、次の事項について協力して取り組み推進していきます。

- （1）跨線道路橋の日常点検に関すること
- （2）跨線道路橋の定期点検に関すること
- （3）跨線道路橋の予防的な維持・修繕に関すること
- （4）跨線道路橋の異常時対応に関すること
- （5）新技術の活用や将来的な維持管理に関すること

### 3 対象の跨線道路橋

全 54 橋（鹿児島本線 26 橋、日豊本線 17 橋、筑豊本線 6 橋、日田彦山線 5 橋）

**Kitakyushu**  
**Action!**  
動かせ、未来。北九州市



**JR**  
JR九州

# 跨線道路橋の包括的維持管理に関する協定書について

## タイムライン



## 包括的管理の目的

インフラの重要設備である跨線道路橋について戦略的な維持管理を実現

- (1) 跨線道路橋の**日常点検**に関すること
- (2) 跨線道路橋の**定期点検**に関すること
- (3) 跨線道路橋の**予防的な維持・修繕**に関すること
- (4) 跨線道路橋の**異常時対応**に関すること
- (5) **新技術の活用**や**将来的な維持管理**に関すること
- (6) その他この協定の目的に沿うこと

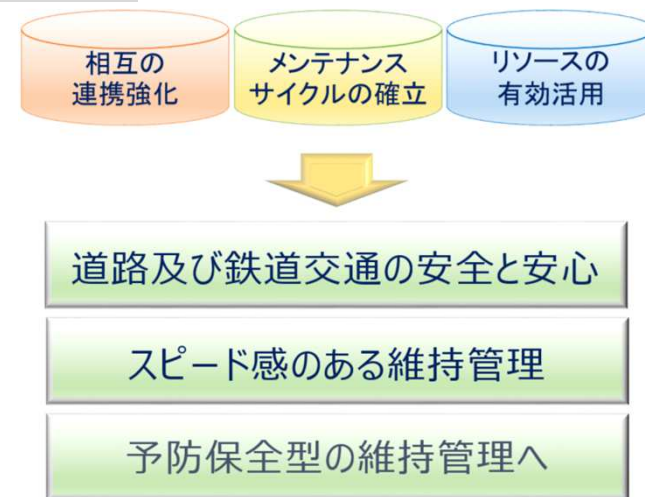
メンテナンスサイクルを加速させることにより安全の確立とLCCの削減

## 基本方針

### 背景・課題

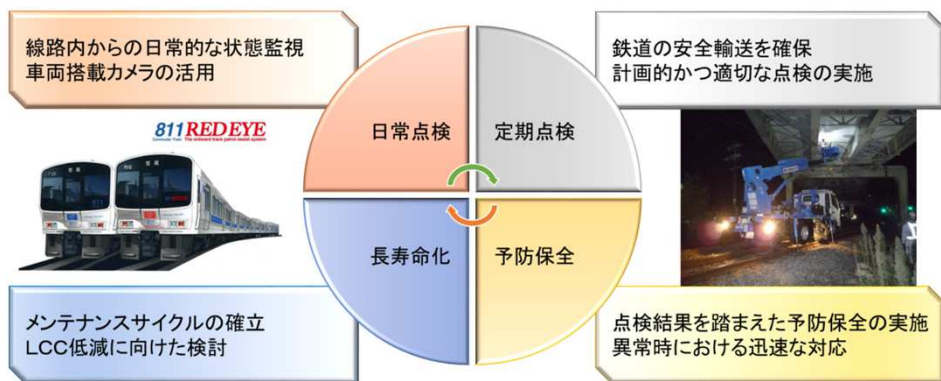


### 基本方針



# 跨線道路橋の包括的維持管理に関する協定書について

## 包括管理の実施内容



## 包括管理の発現効果

- (1) 定期点検業務を包括することによる費用削減
- (2) 跨線道路橋点検業務の平準化(閑散期の有効活用)
- (3) 事務手続きの低減(協議、協定)
- (4) LCC低減及び安全性向上
- (5) 異常時における迅速な対応
- (6) DXに関する技術やリソースの活用

## 包括管理の今後の展開

